

市議会だより

大月市

令和5年8月31日発行 No.171

特集

対談／大月短期大学生と市議会

CONTENTS

- ・特集
対談／大月短期大学生と市議会 …… P. 2～
- ・令和5年第3回（7月）市議会臨時会
（主な議案の内容） …… P. 6～
- ・令和5年第2回（6月）市議会定例会
（主な議案の内容） …… P. 8～
- ・議決結果等一覧表 …… P. 10
- ・代表質問／一般質問 …… P. 10～14
- ・議会日誌 …… P. 16

つきたん苺コンテナ・プロジェクト
に取り組む大月短大生

『短大生から見た大月市』

対 談 大月短期大学生（佐藤茂幸ゼミ） × 市 議 会

大月短期大学の学生の皆さんから、大月市にあったらいいなと思えるものや、興味を持ってもらうために必要な事のご意見を伺いました。また、取り組みを進めている「つきたん苺コンテナ・プロジェクト」についても説明を受けました。



社会文教常任委員会

- ・西室衛副委員長
- ・奥脇一夫委員
- ・山田政文委員
- ・棚本晃行委員

大月市に興味をもってもらうためには何が
必要だと思えますか。

【市議会】

若者や学生が集まれる場所や、訪れた人へ
魅力を伝える場所が必要だと思えます。

【大月短期大学生】

○大月市にあったらいいなと思う
もの。また、若者が大月市に興味
を持ってもらうためには、観光面
で何が必要だと思えますか。

（市議会）

・大月市は東京へのアクセスが良
いので、訪れた人に市内のサービ
スを提供する場所が必要だと思
います。現在、ゼミで古民家を利用
していちごを販売していることを考

えています。空き家が多いためそ
こを活用してイベントを行うこと
でもっと大月市の魅力を伝えてい
きたいと考えています。

（短大生）

・古民家、空き家を利用した宿泊
施設を増やしていくのはどうか
なと思っています。積極的に導入し
ていてもらいたいです。

（短大生）

・私の地元はかなり田舎で普段観
光客が来ることも全然ないので
が年1回大きなマラソン大会が
あって、有名人を招いたマラソン
大会を開くと、どんなに田舎でも

何万人という人が来て、すごく自
分の地元が賑わうときがあるので
大月でも大きなイベントを開催し
たらいいのではないかなと思いま
す。

（短大生）

・学生が集まれる場所が少なく、
小学生も中学生も高校生も、集ま
りやすい場所が少ないと感じてい
ます。

（短大生）

・公園はお金を使わなくてもいい
し、簡単に集まれるし、待ち合わ
せ場所になったりもすると思うの
で、あったらいいなと思います。

観光面では、私の地元では山の中
にアスレチックがあつて、大月市
にも自然がたくさんあるので、自
然を活かしてそういうものを作れ
たら、県外の人も呼び込めるので
はないでしょうか。

（短大生）



○全国で人口減少が進んで、今後、短大の受験者数も減り、入学者も減る、そして、市内に残ってもらうのも難しいというのが大きな課題ですが、皆さんの意見を聞かせていただけますか。
(市議会)

・私は、ここに来てくれた学生をこの街に定着させるのがいいと思っています。具体的には、この街の人と深く繋がりがあればまた戻ってきたいなと思うので、この地域の人と一緒に何かをして、仲良くなった人にまた会いたいから会いに来る。そういう学生を増やして、そこでまた地域と一緒に活動していけば、だんだん戻ってきてくれる人も増えると思います。
(短大生)



○佐藤ゼミの協働プロジェクト「つきたん苺コンテナ・プロジェクト」について、現在どのような取り組みを行っているのか伺いたいと思います。
(市議会)

・「つきたん苺コンテナ・プロジェクト」は、去年の11月から始まりました。大月短大にコンテナを設置して、そこでいちごを育てています。いちご生産班、販路開拓班、イベント企画班、プロモーション班という4つの班に分かれて取り組んでいます。
(佐藤教授)

・生産したいちごを使って実際に地域に発信したり、大月市に住んでいない人達への発信にもなると考えています。このいちごプロジェクトを知ってもらうことで、実際に大月市に興味を持ってもらえる人が必ずいると考えています。
(短大生)



つきたん苺コンテナ・プロジェクト ロゴマーク

・販路開拓としては商品開発やふるさと納税の企画をしています。短期的なイベントとしてお祭りでの屋台やキッチンカーを使ったイベント企画や、シェイクとかアイス、いちごを使った商品案を考えました。8月以降にはいちごのジェラートを企画する方向で、それが良ければふるさと納税の商品として使っていたければというお話になりました。
(短大生)

・イベント企画班では月に1回カフェを開くことを計画しています。場所は市内の古民家や短大の下のフリースペースです。ターゲットとしては大月の人口比率からして学生だけでなく高齢女性も対象としています。現在は興味を持ってもらえるようなメニューや雰囲気づくり、値段について話し合っている段階です。
(短大生)

・プロモーション班ではSNSを通してファンを獲得することを考えていて、インスタグラム、ティックトック、ユーチューブから投稿していこうと考えていて、今は主にインスタグラムの活動をしています。
(短大生)



意見交換会の様子

【市議会からお礼の言葉】

貴重なご意見を頂きありがとうございます。大月市の活性化のために積極的に活動を頂いていることにも感謝申し上げます。皆さんが大月市に残りたい、戻ってきたいと思えるよう、頂いた意見をまちづくりに活かしていきたいと思えます。

大月市議会令和5年第3回（7月）臨時会

こんな事が決まりました

7月27日（1日間）

第63代議長



奥脇 一夫

第57代副議長



棚本 晃行

議長就任挨拶

また、常任委員会及び議会運営委員会を選任し、続いて、大月都留広域事務組合議員、東部地域水道企業団議会議員、山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員、並びに富士・東部広域事務組合議会議員の選挙を行い、議会構成を終えるとともに、市長提案による監査委員については、小原丈司氏が全会一致で同意され、提出された議案についても原案のとおり全会一致で可決しました。

大月市議会第63代議長に就任いたしました奥脇一夫でございます。この度、議員の皆様のご推挙によりまして、大月市議会議長の要職に就任させていただくことになりましたことは、身に余る光栄に存する次第であります。

私は浅学非才であり十分な能力もなく皆様の期待に応えていけるかどうか不安でございますが、ここに皆様のご推挙を受けました上は、身を挺してご厚情に報いるよう覚悟を新たにしています。現在大月市を取り巻く環境は大変厳しく、解決しなければならぬ課題も山積している状況にあります。議会に対する市民の皆様の期待も大きなものがあり、市民のために審議し、決定をしていかなければなりません。その責任も一段と重たいものであると認識しておりますので、重ねて皆様方のご協力を申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

奥脇一夫新議長 抱負を語る

Q 議長就任への思いは

A 市民生活に多大な影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症も5類へと移行し、市民の皆様の生活も日常に戻りつつありますが、あらゆる場面における日常を一刻も早く取り戻せるよう、また、市民の皆様のご期待にお応えできるよう、使命と責務を強く自覚し、これまで積み上げてきた経験を活かし、円滑かつ効率的な議会運営に邁進していきたい。

Q 議会の果たすべき役割は

A 二元代表の一翼を担う議会は、大月市を未来に繋げていくため、事務執行の監視、チェック機能を果たし、より適切に政策を決定し誤りのない選択をしなければならない。それと同時に、住民福祉の向上を目指すため、調査研究をし、活発な議論と政策提言を行い、地域の活力ある発展へ寄与していかなければならない。

Q 議会の改革は

A 信頼ある開かれた議会づくりを推進するためにも、議会の活動が市民の皆様にも見える形になるよう、様々な広報手段を検討し、情報発信に努めていきたい。多様な市民の意思が的確に反映できるよう大月市議会の機能強化に努め、課題の一つ一つを丁寧に解決していきたい。

新議員の紹介



議員
藤本 実



議員
山田 善一



議員
萩原 剛



監査委員
小原 丈司



議員
亀井 好延



議員
鈴木 基方



議員
相馬 力



議員
山田 政文



議員
天野 築



議員
鈴木 竜児



議員
鈴木 康揮



議員
山地 渉



主な議案の内容

予算（補正）

◎令和5年度大月市一般会計補正予算（第3号）

国の交付金を活用し地域活性化を図るもので、早期に事業着手、実施をするために補正を行うもの。

人 事

◎大月市監査委員の選任

監査委員小泉二三雄氏は、令和5年7月26日をもってその任期が満了となったため、改めて小原丈司氏を選任しようとするもの。
・大月市猿橋町藤崎
小原 丈司

そ の 他

◎議員の派遣

令和5年度山梨県市議会議長会議員合同研修会（8月4日）に議員全員を派遣します。

・派遣の目的
研修「議会が遠い存在になっ
ていませんか・」議
会を身近に感じていただくに
は」

令和5年7月臨時会 議決結果等一覧表

賛成○ 反対× 退席— 欠席／ ※奥協議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原剛	小原丈司	山田善一	藤本実	山田政文	相馬力	鈴木基方	棚本晃行	亀井好延	山地渉	鈴木康揮	鈴木竜児	天野 築	結 果
その他	第 34 号	令和5年度 一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
選挙	第 35 号	大月市監査委員の選任について同意を求める件	○	— (注)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

（注）議案第35号では、自己に関する事件のため議事の間は退席をしております。

正副議長・監査委員並びに各議会所属議員

◎ 議長 ○ 副議長 ※ 監査委員 () 内は定数

議 長		奥脇 一夫	副 議 長		棚本 晃行
議会運営委員会 (6)		◎ 山田 善一 小原 丈司	○ 藤本 実 萩原 剛	相馬 力	山田 政文
常任委員会	総務産業 (7)	◎ 鈴木 基方 亀井 好延	○ 相馬 力 小原 丈司	鈴木 竜児 萩原 剛	鈴木 康揮
	社会文教 (7)	◎ 藤本 実 棚本 晃行	○ 山田 政文 山田 善一	天野 築 奥脇 一夫	山地 渉
議会選出監査委員 (1)		※ 小原 丈司			
大月都留広域事務組合 議 会 議 員 (5)		鈴木 基方 萩原 剛	相馬 力	山田 政文	小原 丈司
東部地域広域水道企業団 議 会 議 員 (5)		棚本 晃行 萩原 剛	鈴木 基方	山田 善一	小原 丈司
監 査 委 員 (1)		※ 山田 政文			
山梨県後期高齢者医療 広域連合議会議員 (1)		藤本 実			
富士・東部広域環境事務 組合議会議員 (2)		鈴木 基方	萩原 剛		
市議会広報委員会 (6)		◎ 藤本 実 鈴木 基方	○ 亀井 好延 山田 善一	天野 築 竜児 延	山地 渉

◎ 無会派議員		・ 所属議員	・ 代表者	◎ 山と川の街大月	・ 所属議員	・ 代表者	◎ 自由民主党	・ 所属議員	・ 代表者	◎ 大月の新しい風	会派構成
鈴木 康揮	藤本 実	棚本 晃行	小原 丈司	奥脇 一夫	鈴木 基方	相馬 力	萩原 剛	山田 善一	天野 築	鈴木 竜児	山地 渉

こんな事が決まりました

5月18日～6月9日（22日間）

今定例会の議案



市長提出

- 報告・・・・・・・・・・1件
- 条例案件・・・・・・・・・・1件
- 補正予算案件・・・・・・・・1件
- 人事案件・・・・・・・・・・2件

主な議案の内容

報告

◎令和5年度 大月市一般会計補正予算（第1号）

国及び県の物価高騰緊急対策に基づく特別給付を早期に執行するため追加の補正を行いました。

○子育て世帯生活支援特別給付金事業

3、543万円

対象世帯はひとり親世帯、その他住民税非課税世帯の子供（327人）子供1人に、国5万円、県5万円を特別給付する。

予算（補正）

◎令和5年度 大月市一般会計補正予算（第2号）

○地方創生臨時交付金等を活用した事業

1億3、932万円

○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業

8、700万円

住民税非課税世帯に1世帯3万円特別給付金

○大月市障害福祉サービス事業所価格高騰重点支援金交付事業

306万円

○大月市介護事業所価格高騰重点支援金交付事業

692万円

○保育施設等に対する価格高騰重点支援事業

220万円

○医療機関等に対する価格高騰重点支援金交付事業

492万円

○がんばろう大月貨物運送事業者支援事業

905万円

○学校給食費2～3学期無償化

4、562万円

○コミュニティ助成事業の決定（笹子公民館原分館建設事業）

1、500万円

人事

◎大月市農業委員会委員の任命について同意を求める件

14名（うち認定農業者4名）の提案に同意

◎山梨県東部地域公平委員会委員の選任について同意を求める件

石井嘉幸氏（笹子町）の提案に同意

常任委員会の様子

●総務産業常任委員会

がんばろう大月貨物運送事業者支援事業について
(産業観光課)

Q 事業支援の内容について詳しい説明を。

A 今回は、トラック、軽自動車の黒いナンバーの輸送業者への支援になります。トラックについては1台あたり5万円。軽貨物につきましては、1台あたり3万円を予算計上しております。支給対象ですが、予算上トラックは160台ほど予算計上し、軽自動車については30台ほど概算で計上しております。

コミュニティ成事業について
(企画財政課)

Q 情報格差が無いようにしっかりと徹底する必要があるのですが、これまでの実績の一覧表を出して各自治会等に情報提供やアドバイスをすることも必要ではないか。

A 広報10月号で毎年募集をかけてこの時点で決定するので、広報を活用して情報提供させていただきます。

※

コミュニティ助成事業とは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより地域社会の健全な発展と、住民福祉の向上に寄与するための事業です。



A 昨年度の実績でありましたが、飼い猫が46匹、野良猫のほうは36匹の申請がございました。野良猫につきましても今ボランティア協会の方がやっております、動物基金の方で市が協力して実施しているもの、さくらねこ無料不妊手術事業も引き続き行っております。

●社会文教常任委員会

山梨県猫不妊・去勢手術助成事業について(市民課)

Q 昨年に引き続き本年度も全額県費で取り組んでいただけるという事だが、野良猫の状況はどうなっているか。

A

昨年度の実績でありま

電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業(福祉介護課)

Q 想定される事業の対象世帯等の詳細を。

A 非課税世帯を対象としてまして対象世帯数は3、500世帯を予定しております。

Q 家計急変の世帯はどのようなのか。

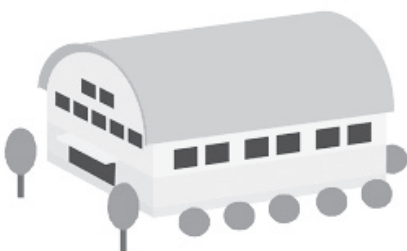
A 昨年の家計急変世帯の実績が50世帯程です。家計急変があった場合は申請をしていただくように周知をさせていただきます。



学校施設について
(学校教育課)

Q 大月東中学校の体育館の屋根の色が非常に変色している。確認して対応願いたい。

A 学校訪問時に各施設を回り修繕が必要な箇所を確認しました。大月東中学校の屋根については、国道から見てもかなり目立つような状況でありますので、詳細な調査をして実施計画に載せていくように考えたいと思います。



令和 5 年 6 月定例会

議決結果等一覧表

賛成 ○ 反対 × 退席 — 欠席 / ※山田政文 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩 原 剛	相 馬 保 政	奥 脇 一 夫	小 泉 三 雄	西 室 衛	小 原 丈 司	藤 本 実	相 馬 力	鈴 木 基 方	安 藤 久 雄	志 村 和 喜	棚 本 晃 行	結果
報告	専決第 1 号	大月市税条例の一部を改正する条例													承認
	専決第 2 号	大月市国民健康保険税条例の一部を改正する条例													
	専決第 3 号	令和 4 年度 大月市一般会計補正予算（第 13 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決第 4 号	令和 5 年度 大月市一般会計補正予算（第 1 号）													
条例	第 30 号	大月市保育料条例等中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正 予算	第 31 号	令和 5 年度 大月市一般会計補正予算（第号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	第 32 号	大月市農業委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	同意
	第 33 号	山梨県東部地域公平委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 議案第 32 号は、議長の自己に関する事件のため、副議長が議事を進行しております。

6 月定例会 代表質問・一般質問

代表質問

(1) 西室 衛 議員（大月改新の会 & 公明） 10 ページ

- ① 粟井氏の構想と連携していくべきでは
- ② 給食費無償化は魅力の一つでは

(2) 棚本晃行 議員（山と川の街大月） 11 ページ

- ① 財政健全化への取り組みの成果は

一般質問

(3) 鈴木基方 議員 13 ページ

- ① 本市を県内観光のハブ拠点とする広域観光を

(4) 藤本 実 議員（日本共産党 所属） 14 ページ

- ① 医療・介護の人材不足をどう認識しているか
- ② 市庁舎は市民によく説明すべきだ



市議会のページは
こちらから



大月改新の会 & 公明

西室 衛

Q 粟井氏の構想と連携して
いくべきでは

A 情報を共有しご支援、ご
協力をお願いする

問 新たなまちづくりに
ついて、公益財団法人
粟井英朗環境財団の役
員を務める粟井氏は、
次世代型都市構想を掲
げ、大月市を山梨県の
入り口で中核地と捉え
ている。本市が考える
山梨の玄関口としての
ハブ機能の強化と、粟
井氏が取り組む事業は
共通しているが、今後、

答 市長

粟井氏の構想と連携し
進めていく考えは。

新たなまちづくりについ
てのうち今後の連携の考え
はについてであります。粟
井氏は、大月市は山梨県と
富士山への玄関口であり、
県内でも中核となり得る可
能性を持った重要な場所

あるという見解をお持ちで
あり、本市の人流と物流の
ゲートウェイシティの考え
方とつながるものがありま
す。今後も連携を図り、情
報共有する中で、ご支援、
ご協力をお願いしていき
たいと考えております。

再質問

問

粟井氏のスーパージ
ティ構想では、大月市、
富士吉田市、甲府市を
トライアングルとして
結び、大月市も10万人
都市として人口流入も
構想されています。粟
井氏の構想を踏まえて
のまちづくりは、市と
しても早急に取り組む
必要があると思うが。

答 秘書広報課長

粟井氏の構想を踏まえての
まちづくりについてであり
ます。粟井氏とは、構想につ
いてこれまでも面談を行って
おりますが、今後も面談を重ね、
構想を理解した上で、さら

る連携を図り、市の活性化に
つなげてまいりたいと考えて
おります。

Q 給食費無償化は魅力
の一つでは

A 令和6年度から中3
に無償化を考えてい
る

問

小中学校の給食費無
償化への財源確保につ
いて、少子化対策とし
て、いち早く給食費の
無償化を実現すること
は魅力の一つになるが
いかがか。

答 市長

小中学校の給食費無償化
への財源確保についてのう
ち、初めに少子化対策とし
ての考えは及び子育て支援
策としての考えはについて
お答えいたします。

少子化対策や子育て支援
策となり得ます学校の魅力
づくりに関しましては、学
校給食費の無償化につき

しては、本市の財政状況を
鑑みますと、完全実施する
ことは困難な状況です。し
かしながら、学校給食費の
無償化も少子化対策や子育
て支援策の観点からも有効
であると考えております。
既定予算の精査を行うこと
により、段階的ではありま
すが、令和6年4月より、
中学校3年生の学校給食費
に限り、無償化する方向で
進めております。



給食の様子

その他の質問

問 市長の人口減少対策は

問 带状疱疹について



山と川の街大月

棚本 晃行

Q 財政健全化への取り組みの成果は

A 財政調整基金へ4年間で12億2,000万円余り積み増しした

問 小林市長は、この4年間、財政健全化と地域活性化をスローガンに掲げ、特に財政健全化においては、大月市の未来を見据え、持続可能な財政運営を目指し、市一丸となって取組を進めてきたと承知している。その成果として、基金の積み増し

の具体的な取組や課題などについてであります。財政健全化の取組として、公約で掲げた一つ一つの事業を見える化、事務事業の評価と棚卸を実施し、様々な財政的な数値の改善に努めてまいりました。

まず、借金である地方債の残高であります。事業の精査や優先順位の整理を行った上で、返済額を上回る借入れは行わないという借入れと返済のバランスを徹底し、4年間で普通会計において21億6,000万円余り削減できました。

また、一般家庭の貯金である財政調整基金の積立金については、4年間で12億2,000万円余りを積み増し、今後の事業に備える財政基盤づくりを実行しているところであります。

さらに、私が就任してからのふるさと大月応援寄附金は、令和元年度約3億9,000万円、令和2年度約7億6,000万円、令和3年度約5億4,000万円、令和4年度約4億円の

計21億円余りをいただきました。それを効率的かつ効果的に充当し、市民サービスを低下することなく財政調整基金等を積極的に積み立てることにより、健全化判断比率である将来負担比率は146.5から86.6

に、実質公債費比率は17.7から14.5に大幅な改善をすることができました。

この改善は、コロナ禍の苦しい財政状況の中で達成した数値であり、今後コロナの収束に伴い、さらなる改善を図り、来るべき庁舎建設や富士東部地域で実施する広域ごみ処理施設整備事業等の大型事業に備えるとともに、教育、福祉の充実やDXなどの事務改善につなげることが私の目指す方向であります。

また、ふるさと応援寄附金は、制度や共通返礼品の見直しにより、厳しい状況がしばらく続くことや、人口減少に伴う市税等の増収が見込めないことなどから、より厳しい財政運営が求められるものと認識しており

ます。
現在は、道半ばであり、さらに強固な財政基盤づくりに邁進していく所存であります。



その他の質問

問 病院経営の認識と改善に向けた支援は

問 人口減少対策の具体的な施策は

問 防災対策と防災計画の見直しの進捗は

問 今後の産業振興施策は

問 人の役に立つ市役所づくりの進めかたは



鈴木 基方

Q 本市を県内観光のハブ拠点とする広域観光を

A 市内バスツアーの企画や他の県内市町村との連携を広げる

問

財政健全化に寄与したふるさと納税が、県による共通返礼品の見直しなどで厳しい状況となりつつあるが、今後について伺う。

本市を県内観光のハブ拠点とする広域観光を進めるべきだ。

答 市長

ふるさと大月応援寄附金は、ここ2年間は減少傾向にあります。この要因は、制度の見直しと県内共通返礼品の減少によるものだと分析しており、令和2年度から返礼品開発補助金要綱を策定し、地場産品の

開発助成に取り組んでまいりました。ふるさと納税額を伸ばしていくために地場産品を増やし、地域産業を活性化させていくことが必要であると考えております。

山梨県全体の観光の玄関口として、県内観光の拠点であると考えており、この立地を生かして、県内観光の出発点となる可能性を感じております。ホテル東横インの開業により、毎月6,000人程度の宿泊者があり、観光でのお客様はここを拠点に県内もしくは静岡県などの近県へと足を運んでおります。

さらに、甲州市と観光面での連携を深める取組に努め、大月市、甲州市及び株式会社東横インバスとの3者間で協議を行い、東横イン富士山大月駅発着の企画バスツアーを計画し、昨年秋には「バスで巡るワインの里」甲州勝沼」として、甲州市のワインが試飲でき、ぶどうの丘などを巡るバスツアーが実現しております。また、東横インバスとの

再質問

連携を強め市内バスツアーの企画や他の県内市町村との連携を広げていくことで、広域観光につなげ、本市の魅力としていきたいと考えております。

問

人口が減っても、経済を発展させ、地域を活性化できる。これが交流人口を増加させることの意義であり、大月にお金を落としてもらうことに向けた事業を民間とともに広域的に展開すべき。

人口減少社会において、合併では、地域の独自性は失われ、地域間格差は助長されていくが、広域連携ならば、事務の効率化で、行政サービスを低下させず、地域の独自性を守り、地域間格差はかえって個性として、おのこの独自の発展を遂げることでできると言えるが。

答 企画財政課長

人口減少しても交流人口が増加すれば、地域の経済の活性化に貢献するものと考えております。今後も民間と連携を図りながら、地域のにぎわいの創出に努めてまいりたいと考えております。

各自治体における地域の独自性を守り、個性を生かしつつ広域連携を進めていくことは重要であると認識しておりますので、引き続き必要な分野におきまして、広域で共同事務を進めていきたいと考えております。



東横イン富士山大月駅



藤本 実

日本共産党 所属

Q 医療・介護の人材不足を
どう認識しているか

A 若手の人材を確保するこ
とが大きな課題

問

大月市内での医療・

介護に関わる人材不足
が深刻だ。介護事業所
で施設長さんからお話
を伺うと、若手の採用
はほとんどなく、60代、
70代の職員で踏ん張っ
ていると話している。
ある訪問看護事業所か
らは、数年後の事業継
続が難しいというお話

が出ている。

答 市民生活部長

医療、介護に携わる若手
の人材を確保することが大
きな課題となっており、高
齢者福祉計画・第8期介護
保険事業計画におきまして
施策の一つとしております。
介護人材の裾野の拡大に向

けて、山梨県及び社会福祉
協議会が連携して実施する
介護未経験者を対象とした
介護に関する入門研修や介
護職員初任者研修等は、受
講することにより、通所、
居住、施設系サービスの介
護職員として従事が可能で
ありますので、転職を希望
する方や定年退職された方
などに周知しております。



介護職員

Q 市庁舎は市民によく説明
すべきだ

A 多くの皆様の意見を反映
した計画づくりを進める

問

市庁舎建て替えは場
所だけ決めるのではな
く、大月市の財政状況
や将来展望を示し、必
要性や効能、中長期財
政計画などを含め、市
民によく説明すべきだ。

答 市長

とから、財源計画による財
政負担の軽減を模索すると
ともに、今後の市税をはじ
めとする財源の予測や、次
年度以降予定されている事
業などを見据えた財政計画
について精査しており、後
世に過度な負担を残すこと
のないような事業計画をお
示したいと考えておりま
す。審議会に諮る資料や進
捗状況などについては、随
時市議会へ報告するととも
に、市民の皆様にもホーム
ページを通じて情報提供し
て、多くの皆様の意見を反
映した計画づくりを進めて
まいります。

本年度予定している候補
地の選定については、3候
補地を公平に扱い、新庁舎
の規模や配置計画、概算事
業費等の資料を作成し、学
識経験者や市民代表者等
による審議会において議論
していただき、審議会から
の答申を受け、決定したい
と考えております。
多額の事業費を投じるこ

山梨県市議会議員会（前期） 議員合同研修会

日時：令和5年8月4日（金）

午後2時～4時

会場：アピオ甲府タワー館

4階 光華の間

参加者：大月市議会10名

講師：岩崎弘宜氏（茨城県

取手市総務部情報管

理課長）

講演：議会が遠い存在にな

っていませんか？

～議会を身近に感じ

ていただくには～

【講演要旨】

1、取手市議会は議会改革

度ランキング＊2年連

続全国総合1位

*早稲田大学マニフェスト

研究所議会改革調査部会

が1355の回答議会が

ら毎年発表

2、取手市議会の取り組み

の特徴

（1）中学校と議会の合同

企画（主権者教育「

来て！見て！知って

！取手市議会」）

① 議会が出張授業に出向

き、各校1名議員を選

挙。この時実際の事務

手順で実施。

② 初議会での議長選挙、

議員提出議案の審議・

採決等を実際の議場手

順で体験。

③ 会議録を卒業記念品と

して贈呈し、中学生議

会の動画をユーチュー

ブにアップ。

（2）高校生はじめ住民と

の対話事業推進

（3）デモテック（ICT

を活用して新しい民

主義の創造）

① 早稲田大学、民間事業

者等4者協定で、モデ

ル事業を推進（費用無

料）

② AI、チャットGPT、

オンライン、360度

カメラ、会議録視覚化

システム、要約システ

ム等の推進

3、講師による事例研修の

総括

ICT活用をきっかけに、

今までの議会改革では結び
つかなかった場所・人にも
届けられる可能性が広がり、
住民参加や主権者意識の向
上につながれることを確
信。議員の仕事を楽しんで
ください。目線を下げ、事
務局職員とともに、一步外
に足を踏み出しましょう。

【研修を終えて】

研修会を通じて、議員や

議会の活動が、いかに住民

の主権者意識の向上に影響

を及ぼすことができるのか、

具体的に学ぶことができま

した。議員の活動報告に関

しては気を付けてきたつも

りでしたが、議会が目に向

ければ、中学校での出張授

業や本会議場での模擬議会

の体験会をできるし、IC

Tを導入することで住民へ

の情報提供がもっと身近に

なるなど、重要なポイント

を気づかせてくれる、非常

に得るものが多い研修会で

した。

研修会で印象に残ってい
るのは、講師の方がおっし
やった「目線を下げてくだ

さい」という言葉です。

目線を下げるということは、

職員と目線を合わせ課題に

のぞむことであり、そこに

は住民のみなさんがいるこ

とを忘れないことを意味し

ます。上から目線では、住

民の信頼を得ることはでき

ません。アドバイスを意識

し、今後、大月市議会での

議会改革に取り組んでいき

たいと考えています。

（文責：藤本実）



残暑お見舞い
申し上げます



議長 奥脇 一夫
副議長 棚本 晃行
議員 小原 丈司
議員（監査委員）
萩原 善一
山田 実
藤本 政文
山馬 力
相馬 基方
鈴木 延
亀井 好延
山地 渉
鈴木 康揮
鈴木 竜児
天野 築

議員は公職選挙法によりあ
いさつ状を出すことが禁止
されています。
（自筆による答礼は除く。）

議会日誌

あなたも
本会議を傍聴しませんか

5月（後半）	
16日	議員定例懇談会
18日	全員協議会
	令和5年度第2回市議会定例会 開会
25日	第89回関東市議会議長会定期総会
26日	第89回関東市議会議長会定期総会
29日	全国自治体病院経営都市協議会定期総会

6月	
2日	代表質問・一般質問
6日	総務産業常任委員会
	市議会広報委員会
7日	社会文教常任委員会
9日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和5年度第2回市議会定例会 閉会
14日	第99回全国市議会議長会定期総会
23日	下妻市行政視察
25日	市議会議員一般選挙・市長選挙 告示

7月	
2日	市議会議員一般選挙・市長選挙 投・開票日
4日	市議・市長当選証書付与式
7日	意見交換会（大月短期大学生と市議会）
19日	リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会総会令和5年度総会
27日	全員協議会
27日	令和5年度第3回市議会臨時会（初議会）

8月（前半）	
1日	市議会広報委員会
4日	山梨県市議会議長会（前期）議員合同研修会
8日	市制施行69周年記念表彰式
15日	議員定例懇談会

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様に親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。

詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

※感染症等拡大の状況によっては、自粛をお願いする場合があります。

9月定例会の日程（予定）

●開会日	9月1日
●代表質問	9月14日
●一般質問	
●一般質問（予備日）	9月15日
●閉会日	9月27日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

市議選で新人5人が全員当選し、“市民が改革を選択”と報じられました。閉塞感が強まる中で、地域活性化や議会改革など、市議会の取り組みが問われてきます。

1期目の議員が加わり、第18期大月市議会が始まりました。新鮮な思いを大切にする議会運営に努めるとともに、市民の皆さんにより親しんでいただける紙面づくりが求められてきます。当委員会では、議会活動が手に取るように分かり、親しみやすい紙面をめざして取り組んでいきます。（担当：藤本実）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会
広報委員会

委員長	藤本 実
副委員長	亀井 好延
委員	山田 善一
委員	鈴木 基方
委員	山地 渉
委員	天野 築



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。